

CONTENTS

ビジュアルヘルプ - Rotate.....	2
Rotate コマンドのヘルプ.....	2

ビジュアルヘルプ – Rotate

Rotate コマンド（データポイントのローテーション）は、メニュー Data → Rotate Waves を選択して、ダイアログでも操作できます。

ここではダイアログと対比して説明します。

Rotate コマンドのヘルプ

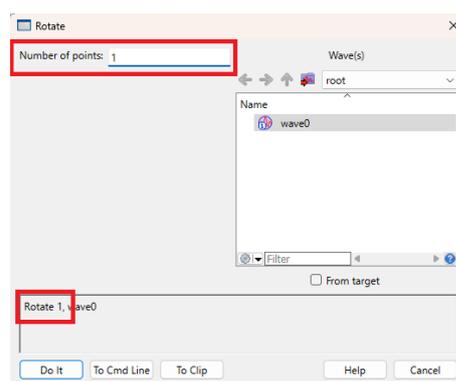
Rotate rotPoints, waveName [, waveName]...

Rotate コマンドは、rotPoints ポイント分だけ、wavelist のウェーブの Y 値をローテーションさせます。

パラメーター

rotPoints が正の場合、値はウェーブの開始から終了に向かってローテーションし、rotPoints の値はウェーブの終了から開始に向かってラップアラウンド（後ろから前に移動）します。

rotPoints が負の場合、値はウェーブの終わりから始めに向かってローテーションし、rotPoints の値はウェーブの始めから終わりに向かってローテーションします。



詳細

指定されたウェーブの X スケーリングが変更され、ラップアラウンドポイントを除いて、Y 値の X 値が同じになるようにします。

Rotate コマンドは多次元には対応していません。

2D ウェーブの行または列をローテーションさせるには、MatrixOp および ImageTransform コマンドのキーワード rotateRows および rotateCols を参照してください。

多次元の解析に関する一般的な情報は、ヘルプ Multidimensional Waves (Multidimensional Waves.ihf) および Analysis on Multidimensional Waves (Analysis.ihf) を参照してください。

例

```
Make/O/N=10 wave0  
wave0={0,1,2,3,4,5,6,7,8,9}  
Rotate 2, wave0
```

Point	wave0
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	

Point	wave0
0	8
1	9
2	0
3	1
4	2
5	3
6	4
7	5
8	6
9	7
10	

Make/O/N=10 wave0
wave0={0,1,2,3,4,5,6,7,8,9}
Rotate -2, wave0

Point	wave0
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	

Point	wave0
0	2
1	3
2	4
3	5
4	6
5	7
6	8
7	9
8	0
9	1
10	